

発電所の出力制御オンライン化の推奨について

弊社は、再生可能エネルギーの最大限活用の観点から、オフライン発電所の発電事業者さまに出力制御機能付 PCS への切り換え等による発電所の出力制御オンライン化を推奨しております。

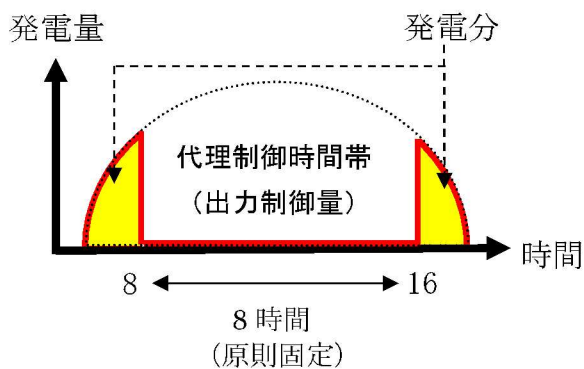
発電所を出力制御オンライン化いただくことにより、出力制御量を低減できるメリットがありますので、是非ご検討下さい。

なお、出力制御オンライン化を希望される場合は、太陽光発電設備のご購入先（販売店さまなど）にご相談いただきますようお願いいたします。また、お手続きの流れについては【裏面】をご覧ください。

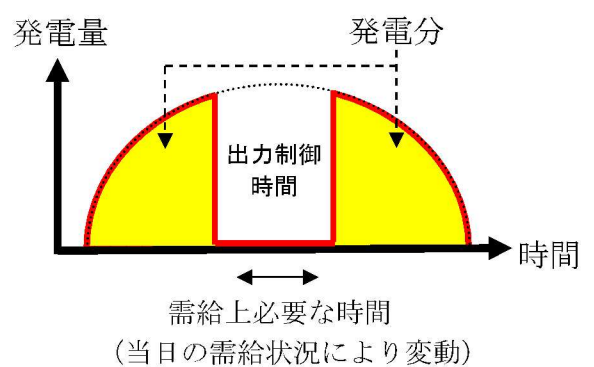
《 出力制御オンライン化による発電事業者さまのメリット 》

- オンライン代理制御が導入されたとしても、オフライン発電所は、本来必要となる出力制御時間帯を原則8時～16時として代理制御の精算額（控除額）を算定します。
(注) これは公平性の観点から、オフライン発電所が現行で出力制御指令を受けた時に実施する制御時間と同等とするためであり、資源エネルギー庁が公表するオンライン代理制御の精算方法に定められております。
- 一方で、弊社からの遠隔制御が可能なオンライン発電所は、当日の需給状況に応じて柔軟な対応が可能となることから、出力制御時間帯のうち必要な時間のみ出力制御を実施しています。
- このため、オンライン発電所は、オフライン発電所と比較して出力制御量の低減（発電機会の損失低減）が見込まれます。

【オフライン発電所の出力制御イメージ】



【オンライン発電所の出力制御イメージ】

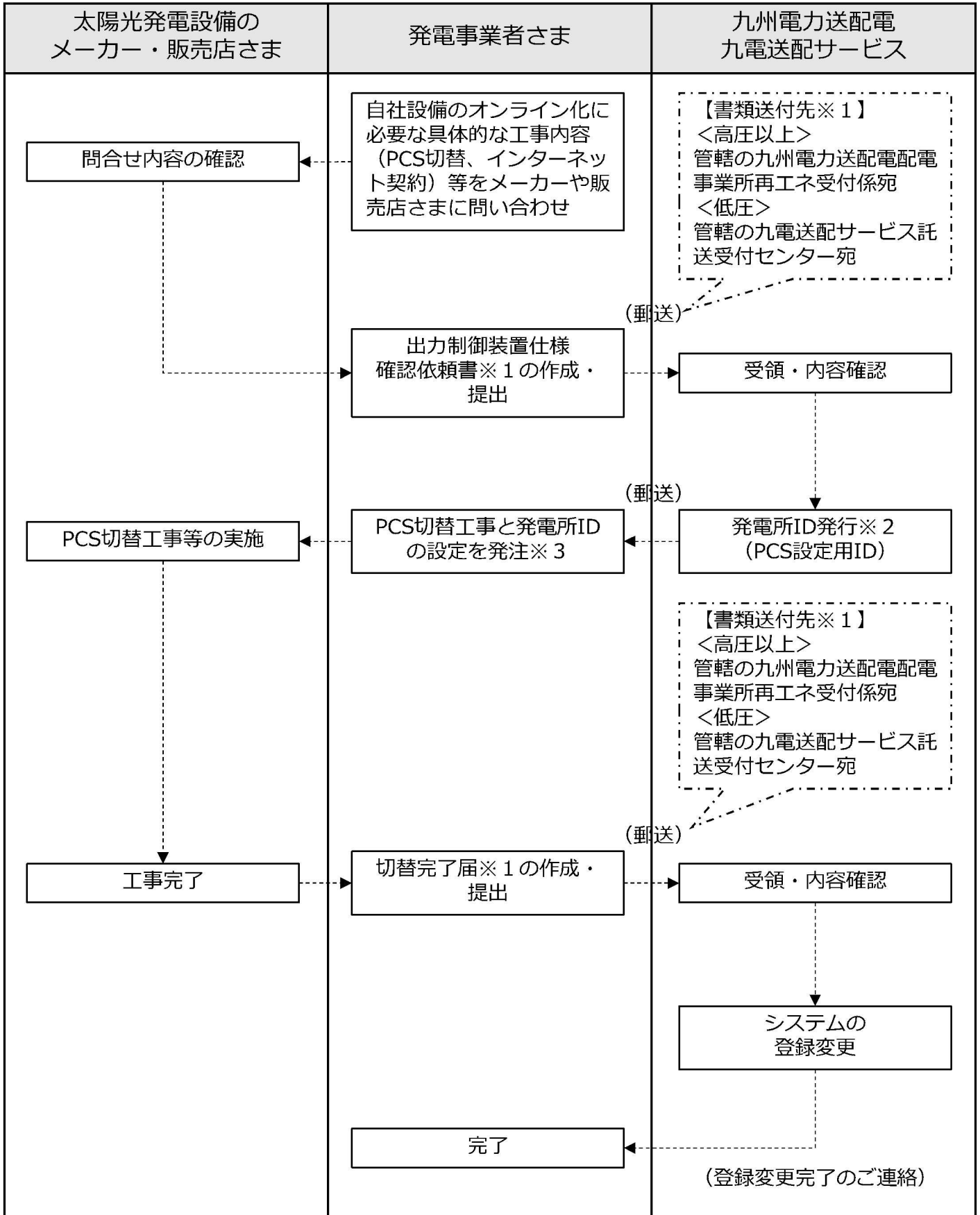


- また、旧ルール500kW以上のオフライン発電所においては、オンライン代理制御の導入後も、GWや年末年始などの軽負荷期において、オンライン発電所だけでは制御量が不足する場合には、従来通りの現地操作等による発電停止をお願いすることがあります。
- このため、旧ルール500kW以上のオフライン発電所においては、出力制御の現地操作が不要となるなど人件費の削減につながるるとともに、現地操作の失念を防止できるメリットもあります。

《 ご留意事項 》

- 出力制御機能付 PCS の設置やインターネット回線の整備・維持など、オンライン化に要する費用は全て発電事業者負担となります。また、確実に出力制御を実施して頂くため、安定した通信状態の確保が必要です。
- なお、出力制御機能付 PCS の設置に要する費用は PCS のメーカー・型式により内容が異なるため、販売店等を通して各メーカーにご確認下さい。
- 旧ルール 10kW 以上 500kW 未満の発電事業者さまへの発電所 ID 発行は、2022 年 12 月以降となります。

出力制御オンライン化のお手続きの流れ



- ※1 書類送付先や「出力制御装置仕様確認依頼書」「切替完了届」等のフォーマットは下記の弊社ホームページよりご確認ください。
 高圧以上：https://www.kyuden.co.jp/td_renewable-energy_purchase_business.html
 低圧：https://www.kyuden.co.jp/td_renewable-energy_purchase_user.html
- ※2 PCS認証が未済でメーカーと認証手続きを行う場合、時間を要することがあります。
- ※3 工事や設定の費用は発電事業者さまの負担となります。